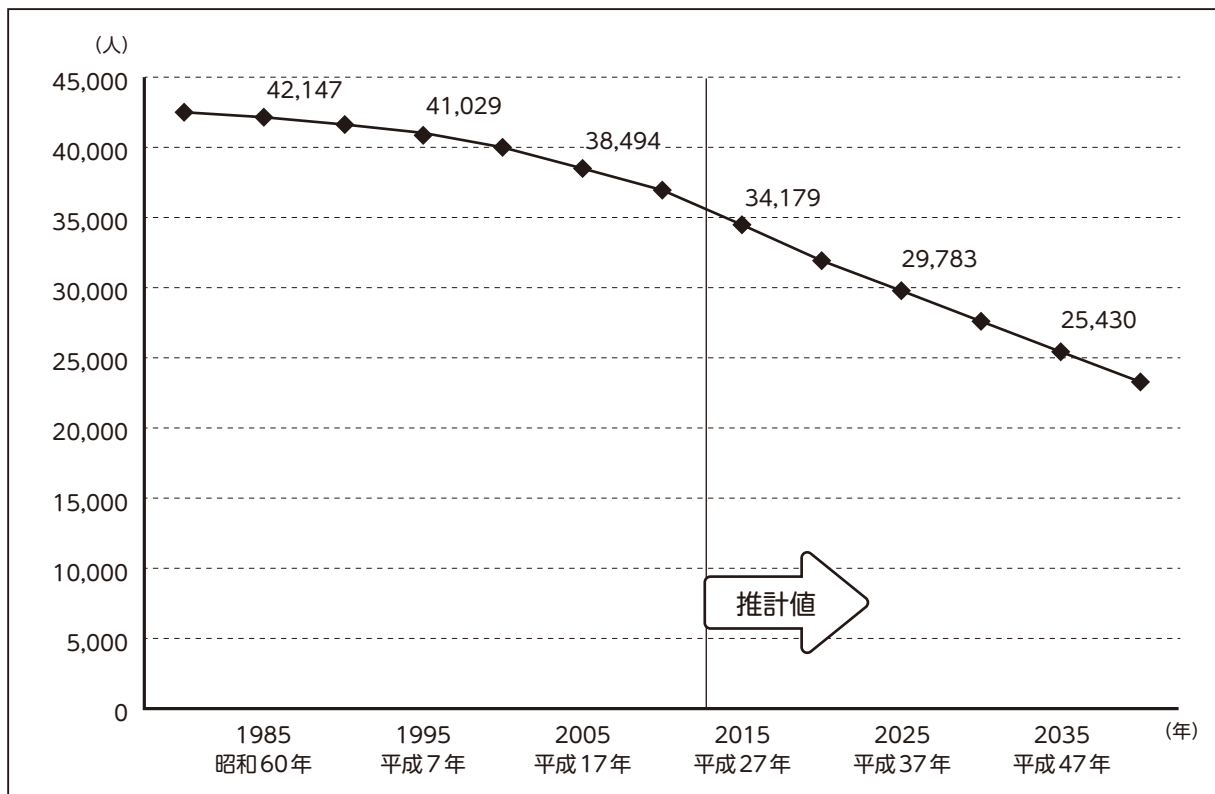


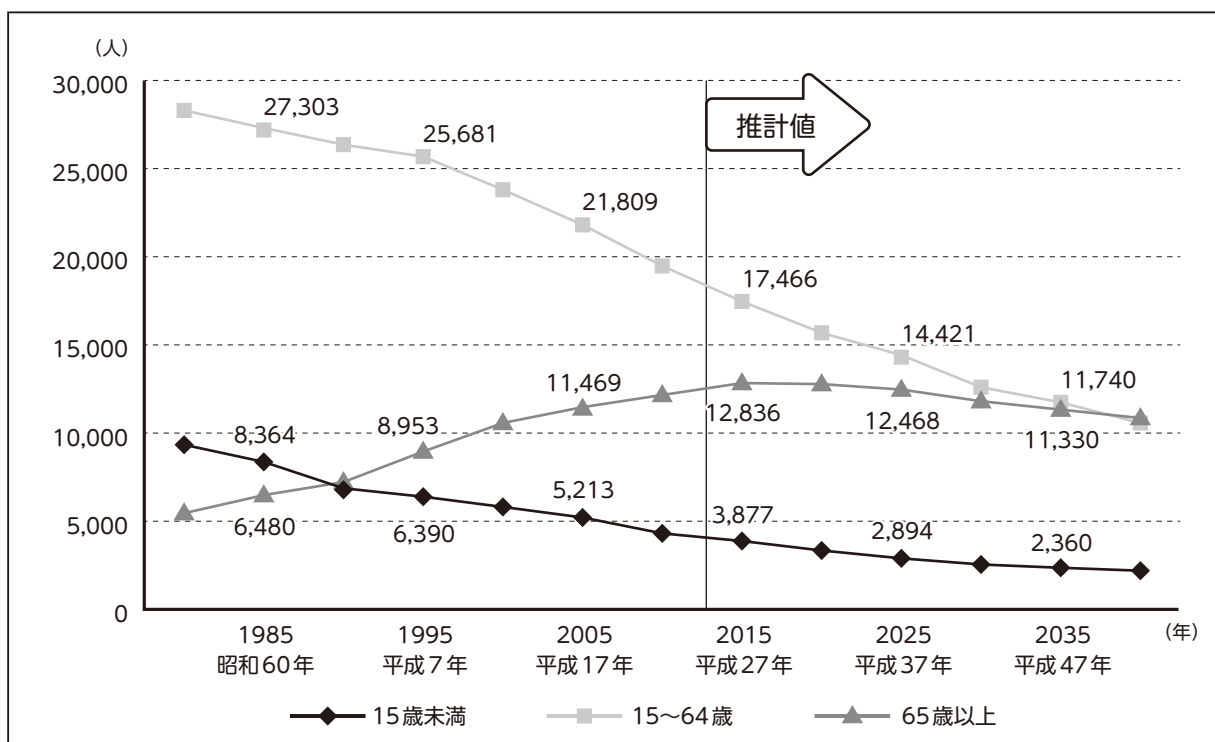
資料 1	基礎データ（人口等）	51
資料 2	地域住民の声	54
資料 3	市民生活アンケート結果	56
資料 4	社会資源（地域活動団体等）	58
資料 5	用語集	64
資料 6	委員名簿	69
資料 7	計画策定の経緯	70

総人口



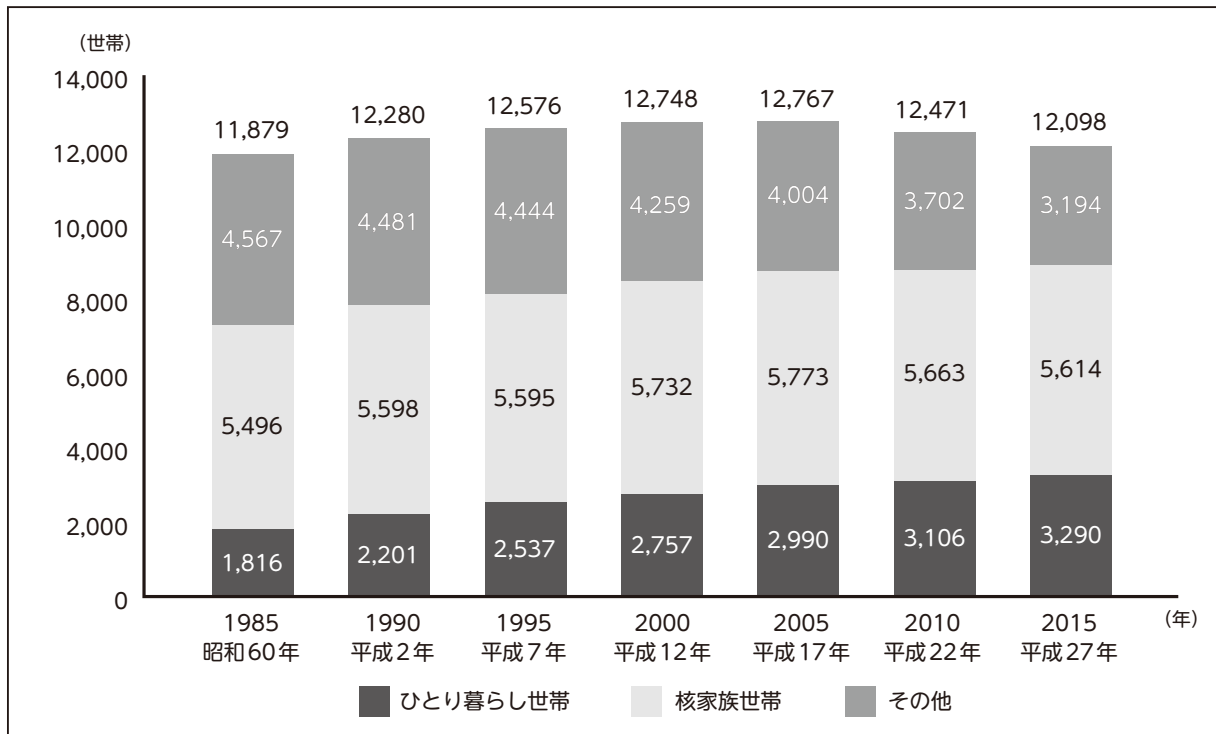
出典：国勢調査、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口」（平成25年3月推計）

年齢階層別人口割合



出典：国勢調査、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口」（平成25年3月推計）

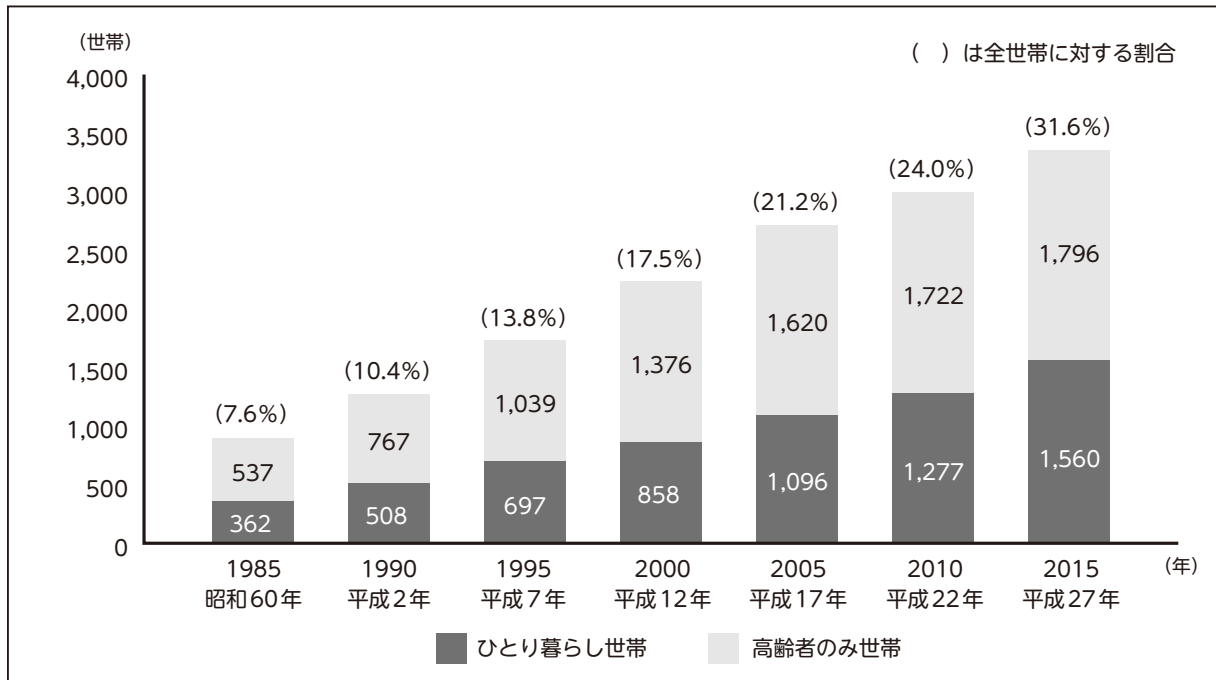
家族類型別世帯数



出典：国勢調査

ひと暮らし世帯が増加する一方で、その他の世帯（3世代同居世帯等）が減少している。

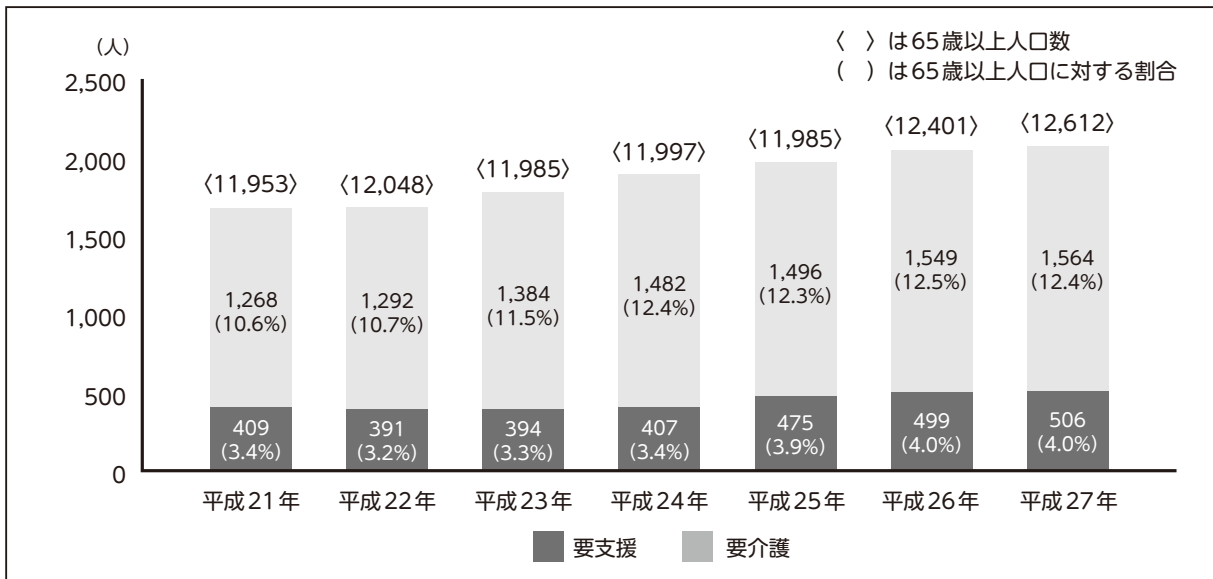
ひと暮らし高齢者・高齢者のみ世帯数



出典：国勢調査

世帯数の減少にあわせて、ひと暮らしの高齢者、または高齢者のみの世帯が増加し、今や3世帯に1世帯の割合となっており、今後も増加が予測されます。

要介護認定者数

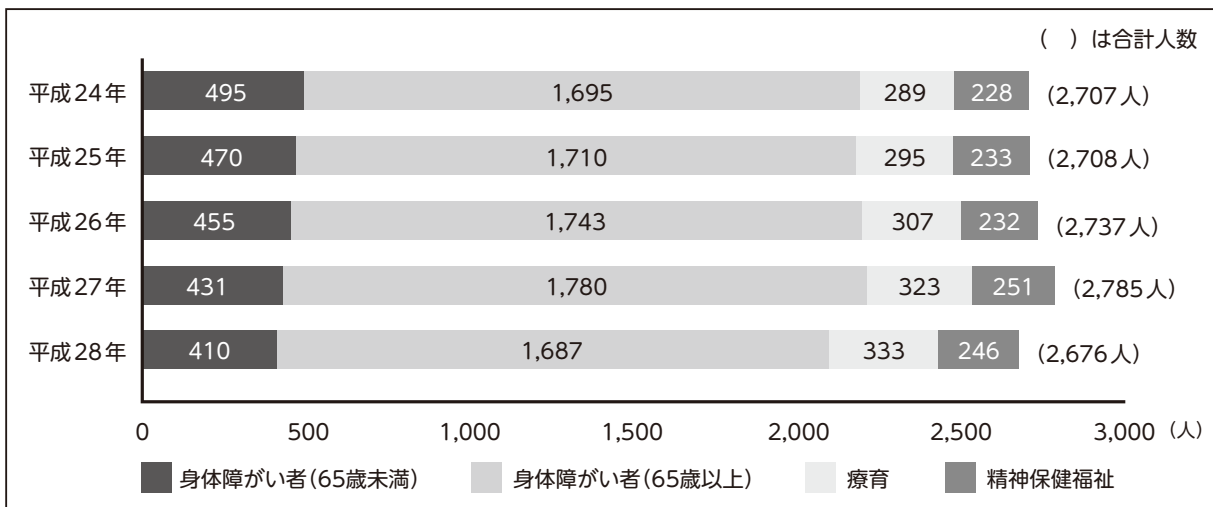


高齢化の進展及び平均寿命の延伸により、認定者数が増加傾向となっています。

ひとり暮らし・高齢者のみの世帯や、介護認定者数の増加がみられる一方で、少子化により生産年齢人口が減少し、介護を含めさまざまな担い手が不足してきています。

また、軽度の支援を必要とする高齢者が増加する中、専門職のみで地域を支えることが困難となってきていることから、ボランティア、NPO法人、民間事業者等の多様な主体が生活支援・介護予防サービスを提供することが必要となります。いわゆる公的な福祉サービスの充実のみならず、「地域で支えあう体制」「制度外サービスの充実」「元気な人を増やす取り組み」などが求められています。

障がい者手帳所持者



近年の障がい者手帳の所持者は、ほぼ横ばいで推移しています。

なお、身体障がい者手帳所持者で65歳以上の方は全体の約65%を占めています。

第2期計画を推進していく中で、地域福祉活動を担っておられる皆さんや、地区福祉懇談会などにおいて、市民の皆さんから多く寄せられた声（ご意見）を列記しました。そして本計画における施策は、それらの声を踏まえて策定されました。

福祉を知る機会がほしい

- 若い世代の地域への関心や関わりが少なくなってきた。
- 福祉やボランティアについて学ぶ機会、知る機会がほしい。
- 福祉や支えあいの大切さを多くの人感じてほしい。知ってほしい。
- 行事などの際、体操や講話などの講師に迷う。福祉人材バンクなどないか？



多くの人に福祉に関心を持ってもらう必要がある

支えあい活動を進めていく難しさを感じる

- 独居・高齢者世帯の増加や、制度改正により、地域で支えあうことが重要と理解しているが、困りごとを把握できていない。
- 福祉委員会や小地域ネットワークの組織化が進まなくて、動きがとりにくい。
- 地域内での連携や前任者からの引継ぎが上手くいっていないことから、支えあい活動の継続にも課題がある。
- 課題などを情報共有したり、解決方法を話し合ったりする機会が少ない。（ない）
- 民生委員児童委員と福祉委員の連携が十分でなく、情報共有ができていない。
- 個々の現状把握が難しく、見守り・安否確認ができない。（しにくい）
（組入りしていない。個人情報への壁も。閉じこもりで会ってもらえない…。）
- 地域の中（小さな単位）で支えあう（困った時に助けあう）仕組みが必要である。
- 他地域の支えあいの仕組みや、支えあい活動を知る機会がほしい。
- ボランティア活動が必要視されている中で、高齢化などにより活動者が減少している。



身近な支えあいを活発にする必要がある

地域内の交流やつながりに不安がある

- 地域行事、伝統行事の継続が難しい。段々減ってきている。
- 同じ世代や世代間で交流する機会が減ってきた。
- 同じ悩みを抱えている人と交流する機会が少ない（子育て・介護・障がい）
- 一人暮らしで寂しい、他者と交流する場に出かけたいが、集まる機会が減った。
- 家に居場所がないため、外出できる場所がほしい。リフレッシュしたい。
- 健康の維持に不安がある。健康づくりに取り組みたい。家で一人では難しい。
- 地域に出られる娯楽がほしい。
- 近所に知り合いが少なくて寂しい。
- 世帯や生活環境などの変化から近隣のつながりが希薄化している。
（困った時や災害時に支えあえるのか？）
- 会話することも少なくなっている。今一度向こう三軒両隣の精神を。



地域での交流や仲間づくりを活発にする必要がある

災害時の対応はどうしたら？

- 災害時の要支援者の把握と支援体制を整えることが必要。
- 災害時に不安がある。(助けあえる体制が整っているのか?)
- 災害時にちゃんと避難できるか心配。
- 災害ボランティアセンターのことを地域の人知らない。



災害に対する取り組みを強化する必要がある

日常生活での困りごとが増えてきた

- 独居世帯、高齢者世帯を中心に日常生活の中で困りごとがあり、在宅生活に支障が…。
(雪かき、草刈、力仕事、ゴミだし、認知症で服薬管理などが困難に)
→ 一方でちょっとしたことを気軽に頼める人がいない。
ヘルパーで出来ない部分を援助してもらえる組織や支援体制がない。(少ない)
シルバー人材センターに何が頼めて、何が頼めないのか分からない。
- 認知症によって自立した生活ができなくなっていくのではという不安がある。
- 介護者の負担が大きくなってきている。
- 買い物、通院、さまざまな外出が困難。歩いていける範囲に病院や商店もない。
- 外出したいが交通手段が少ない。(バスの本数減少・タクシー代の捻出が難しい)
- 子育てしやすい環境がほしい。
(学童保育、病後保育、子どもの遊び場、ちょっと預かってくれるところ)
- 住まいを失った方やDV被害者などの一時的な住居等がない。
- 障がい者への理解やバリアフリーがもっと普及するといい。
- 障がい者が働きやすく、社会参加もしやすい環境が必要。



福祉サービスの充実を図る必要がある

誰かに、どこかに、相談しやすい地域であってほしい

- 困りごとの相談窓口を教えてほしい。何をどこに相談すればいいのか…。
- つらい気持ちを聞いてくれるところ、悩みを聞いてくれるところがほしい。
- 各種手続きや年金、書類の整理など助言してくれる人、助けてくれる人がほしい。
- 相談した場所ですぐ対応してもらえなかった。



相談機能を強化(周知)する必要がある

各団体の強化・連携が必要では？

- ボランティア団体や、福祉関係組織の存続が難しい。新たな会員の確保が難しい。
- 一人で在宅での介護ができるか心配。
- 情報共有し、課題解決に向けて取り組む連携体制が構築されていない。
- 在宅生活を支える機関の連携強化が必要。

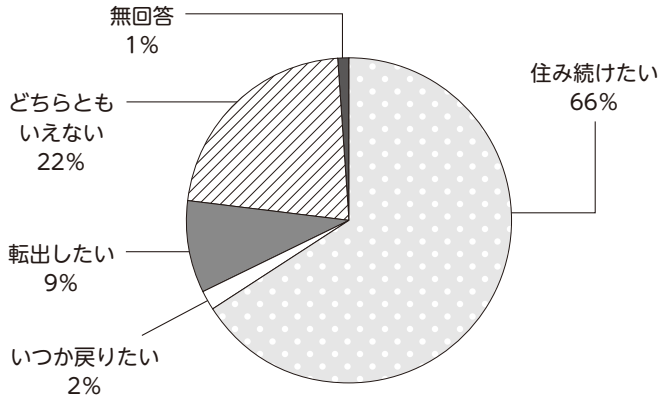


各種団体及び連携を強化する必要がある

市民生活アンケート（平成28年3月実施分 抜粋）

調査対象：市内在住20歳以上 無作為抽出2,000名 回収数1,017人

下呂市に今後も住み続けたいと思いますか？

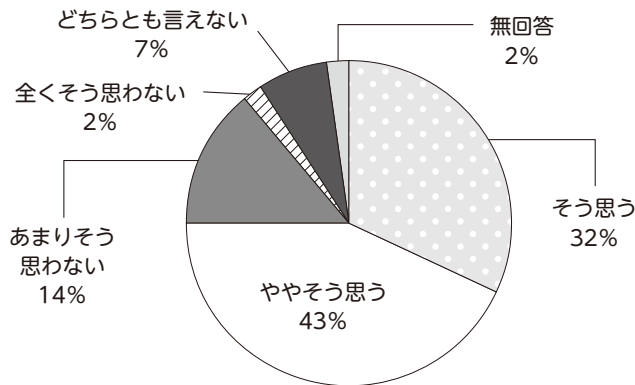


どちらともいえない…… 22%
 転出したい…………… 9%



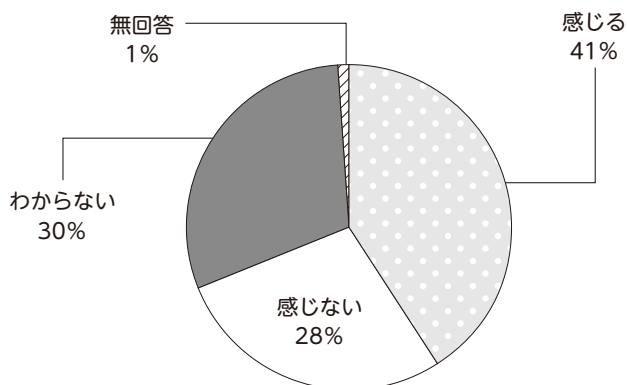
全体の約30%が住み続けたい
 と思っていない。

あなたの地域では、近所の助けあいや地域のつながりがあると思いますか？



「つながりがある」と答えた方
 が75%である一方で、思わな
 いと答えた方が16%。

ゴミ出しや除雪など、日常生活で困っている人に対し地域の中で助けあう活動が
 出来ていると感じますか？



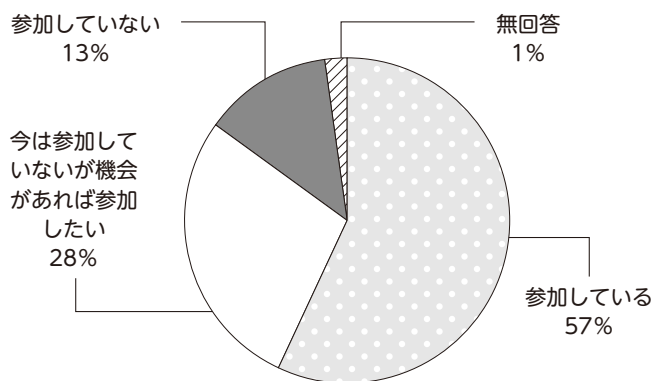
感じない…………… 28%
 わからない…………… 30%



半数以上が感じていない。
 助けあい活動の活性化が必要。

近隣でのつながりが感じられる一方で、具体的な生活支援などの助けあいが十分でないと
 考えられます。

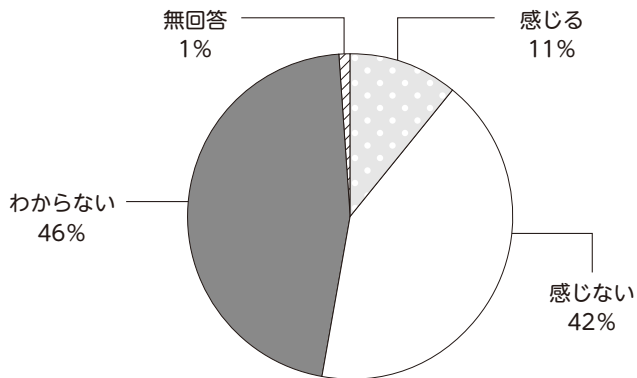
あなたは、何らかの地域活動に参加していますか？



「参加している」という方が57%と、半数以上である一方、下表の参加者の内、福祉活動の参加者が約8%と低い。

文化・芸術活動	スポーツなど健康づくり運動	技術習得などスキルアップ	福祉活動	防災活動などの地域ボランティア	子どもの見守り等家庭青少年教育	郷土史・郷土芸能の伝承	何も取り組んでいない	その他
9.8%	17.3%	5.4%	7.7%	8.9%	3.5%	2.7%	43.0%	1.8%

市民と行政が力をあわせ、まちづくりに取り組んでいると感じますか？



「感じない」が42%と高いが、本計画では、地域住民やさまざまな団体と行政が連携し、共に活動を支えながら推進する必要がある。

福祉委員会・社会福祉協議会分会活動

福祉委員会設置状況

小坂・萩原・下呂・馬瀬（自治会単位）

小坂	11自治会すべてに福祉委員及び福祉委員会が設置されている。
萩原	22自治会すべてに福祉委員及び福祉委員会が設置されている。
下呂	13自治会すべてに福祉委員が設置され、内11地区で福祉委員会が設置されている。
馬瀬	10自治会すべてに福祉委員が設置されているが、福祉委員会は設置されていない。

社会福祉協議会分会設置状況

金山（小学校区単位）

金山	自治会ごとに福祉委員が設置され、4つの小学校区を単位として社会福祉協議会分会を設置している。
----	--

活動内容

住民の困りごとや、福祉課題等の収集、協議。

（必要に応じて福祉関係機関への伝達や協議も実施。）

定期的な委員会等の開催

（見守り対象世帯の把握や情報共有、地域福祉活動の計画など。）

福祉懇談会等の開催

（地域の課題に沿った福祉活動の抽出など。）

地域福祉活動の実践

- ・区民がふれあう交流会や会食会、ふれあいサロンの開催。
- ・福祉防災マップの作成や更新。
- ・防災、減災に対する取り組み。
- ・見守り、安否確認を兼ねた友愛訪問。
- ・住民を対象とした福祉講演会や勉強会の開催など。

※現在、福祉委員会等が設置されていない地区においても、自治会等が中心となり、上記活動を実践されている地区もあります。

第2期計画までを推進する中で、福祉委員や福祉委員会の設置が進み、上記のような地域福祉活動の活性化が図られてきましたが、住民の困りごとや地域課題の発見・集約・情報伝達する機能はまだ不十分と言えます。

ボランティア活動

社会福祉協議会 ボランティア登録状況（平成27年度末）

登録団体数（市全体）：76団体

登録者数（市全体・重複者含む）：1,827人

〔内訳：小坂217・萩原503・下呂491・金山499・馬瀬117〕

活動の種類

地域	交流	生活支援	配食	移送	手話等	子育て支援	まちづくり	環境保全	収集	その他
小坂	2	4	3		1	2	2	7	1	5
萩原	10	3	2	1	3	5		12	4	15
下呂	12		3		1	1	1	3		4
金山	6		4		1	1		3	1	7
馬瀬			1		1	1		1	1	1

※企業・NPO法人を除き、社会福祉協議会登録ボランティアのみを計上しています。

なお、1つの団体で複数の活動をされている場合、重複して計上してあります。

交 流 … サロン、食事会、世代間交流会等の開催など。

生 活 支 援 … 除雪（通学路、独居・高齢者世帯宅等）、生活の困りごと手伝いなど。

配 食 … 独居・高齢者世帯等への手作り弁当などの配食。

移 送 … サロン送迎。

手 話 等 … 手話サークル、要約筆記サークル、朗読ボランティア。

子育て支援 … 託児、子ども会支援、子ども服リサイクル、読み聞かせなど。

まちづくり … 地域づくり講演会・研修会、まちづくりイベントの開催など。

環 境 保 全 … 草刈り、花植え、地区内（公園・神社・共有トイレなど）清掃など。

収 集 … リサイクル活動、古切手仕分けなど。

そ の 他 … 地区行事の手伝い、福祉施設訪問・清掃、当事者組織支援、福祉事業所支援、食育、観光ガイド、コンサート等の開催など。

団体数、活動者数は多い一方で、活動者の高齢化に伴う活動の縮小などの課題を抱えています。また、多様化する福祉課題に対応できる活動は少なく、地域ニーズと活動のバランスが課題となっています。

NPO法人活動（市内登録：18団体）

法人名	主な活動	定款に記載された目的	所在地
すずらんの木	保健・医療・福祉	この法人は、グループホームにおいて自主的・自発的な福祉活動を行い、高齢者及び障害者の人間としての尊厳を守り豊かで生き甲斐のある日常形成に寄与することを目的とする。	萩原町 羽根
ケアパレット	保健・医療・福祉	この法人は、「私の健康」をテーマに地域の人々が、生命の質、生活の質を維持増進しより生きがいのある生活を送るための在宅支援に関する事業を行い、すべての人々が健やかに暮らせる地域社会作りと、保健、医療、福祉の増進に寄与することを目的とする。	東上田
いきいき	保健・医療・福祉	この法人は、社会的自立を目指す、精神障害者及び知的障害者に対して地域生活の援助に関する事業を行い、精神障害者及び知的障害者の社会復帰の向上に寄与することを目的とする。	萩原町 西上田
フラップハウス	保健・医療・福祉	この法人は、障害者に対して、職業訓練に関する事業を行い、障害者雇用拡大に寄与することを目的とする。	御厩野
おおむらさきの会	保健・医療・福祉	この法人は、下呂市とその周辺地域において、自然・環境・文化・福祉などに関する事業を行い、健康で住みやすい地域づくりに寄与することを目的とする。	萩原町 古関
かがやき	保健・医療・福祉	この法人は、障害のある人々とその家族が住みなれた地域で安心して生活を営むことができるよう、ケアホーム・グループホームの設置・運営を行うとともに、豊かな社会生活を送るために必要な支援を行い、関係諸団体と連携し、地域福祉の向上に寄与することを目的とする。	御厩野
楽々会	保健・医療・福祉	この法人は、一人暮らしの高齢者や高齢者世帯の方々、高齢者自身が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、また、高齢者のいきがいづくりとなるよう高齢者同士が支え合う仕組みづくりを目指すとともに、高齢者介護予防・日常生活支援事業を行い、高齢者福祉に寄与することを目的とする。	萩原町 上村
サン・はぎわら	まちづくり	この法人は、広く市民に対して、地域の人材やネットワークを活用することにより、子育て支援、良好なスポーツ環境の提供、福祉の充実、官民パートナーシップの推進及び市民の手による住みよいまちづくりに関する事業等を行い、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。	萩原町 萩原
馬瀬川プロデュース	まちづくり	この法人は、過疎化に悩む馬瀬地域の振興には、清流馬瀬川の保全と有効活用が不可欠であるという認識に立ち、これを「地域の宝」として維持するため、流域の歴史・風土・自然・生活・文化等を再認識し、地域づくりや人づくりを行い、自然資源を活用した体験交流活動、関係団体、指導者との連携づくりの他、産学官民の連携のもと様々な分野や地域を越えた交流や支援を行い、同時に円滑な活動を推進するために必要な調査研究や普及啓発を図り、将来にわたり地域住民および都市住民のいずれもが享受できる馬瀬川流域の保全及び魅力づくりに寄与することを目的とする。	馬瀬 中切